

## 食クラスターQ&A

### Q1 「食クラスター」とは何ですか？

A1 食品が生産・加工され、人々の口に入るまでには、食産業と流通やものづくり（機械）、IT、さらには建設など本当にたくさんの産業の方々との取引があり、さらに大学・試験研究機関、産業支援機関、金融機関、行政なども様々な形で関わっています。食クラスター活動は、厳しい環境が続いている北海道経済の中にあって、国内外から高い支持を受けている「希望の星」である食の分野において、食に関わる幅広い産業（産）と関連機関（学官金）がオール北海道で今まで以上に緊密に連携・協働できる体制を整備し、北海道ならではの食の総合産業を構築しようとする取組です。

### Q2 食クラスターの「本格展開」とはどういうことですか？

A2 北海道では、今から10年ほど前から産業クラスター活動が進められてきたほか、近年は農商工連携や地域資源活用など食産業を活性化しようという取組も進められ、「発展の芽」が育ってきていますが、それぞれの企業や地域の中に留まっているものが多いのが現状です。これらの取組や活動が真に経済効果や波及効果を実感できるようにする、そして多くの方々の参加により新しい取組やプロジェクトを全道各地で数多く作っていかうと考えています。

### Q3 具体的に何をやるのですか？

A3 今回、食のクラスターの全道的な推進母体である「食クラスター連携協議体（FC/NW）」を設立しました。FC/NWでは参加する皆さんがそれぞれ主体的に活動していただきたいと考えています。そのためにはまず、このFC/NWに賛同する多くの方々に参画していただくことが重要です。そしてその中で、それぞれの課題を解決し新しい発展につなげていく、さらには新事業や新しいプロジェクトを「連携・協働」で生み出していくこととしたいと思っています。

なお、経済産業局や道では、食クラスター関連の様々な施策を今年度からスタートさせており、活動の強化につなげていきたいと考えています。

### Q4 目標はあるのですか？

A4 「北海道ならではの食の総合産業」を作ること、そして食産業及び関連産業が北海道経済を牽引していくことが目標ですが、そのためには生産者や企業の付加価値（利益や儲け）を高めることが大事だと思っています。道ではこれまでも付加価値を全国水準まで高めることを目標に様々な取組をしてきていますし、また、農業や食品加工の付加価値を全国最高水準まで高めた場合には、付加価値が約7,000億円（売上げでは約1.1兆円）ほど増えるとの道経連の試算があります。当面は、それぞれの生産者や企業の付加価値を高める活動や食クラスター活動に関わる方々の「連携・協働」による多くのプロジェクトがFC/NWで行われるようにするのが目標です。

### Q5 「オール北海道」ということは道外や海外の方は参画できないのですか？

A5 付加価値を高めるためには、道外や海外の市場動向を捉えながら生産や加工をしていくことが必要です。また、道内へ必要な投資をしていただくことも重要なことです。このため、今後、この活動に賛同する道外・海外の方々にもFC/NWに参加していただき、現実的で効果的な取組にしていきたいと思っています。

### Q6 現在、事業（プロジェクト）を持っていなくても参画できますか？

A6 今の時点で事業（プロジェクト）がなくても、FC/NWの趣旨に賛同いただき、今後、主体的に活動されたい方であれば、幅広く参画いただけます。

### Q7 「FC/NW」とは何の意味ですか？

A7 今回の活動は「今、北海道は食の新時代へ」というコピーを採用することとしました。「FC（FoodCluster）」は「食クラスター」を、「NW」はNetWork（連携）、NewWave（新しい波）、NorthernWind（北からの風）など様々な意味合いを含めています。なお、FC/NWは検索エンジン（GoogleやYahoo!など）で新用語ですから、インターネット上でも「北海道ならではの」です。